

苫小牧市スポーツ推進計画 施策事業について

活みなぎる「スポーツ都市」とまこまい

～スポーツを愛し、市民が活気あふれるまちへ～

- ① 令和4年度事業実績
- ② 令和5年度事業進捗状況



No. 1 市民スポーツ祭の開催

事業の目的

各種競技の市民スポーツ祭を開催し、幅広い市民に参加の機会を与え、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりに寄与することを目的とする。

事業1 各種市民スポーツ祭の開催

●内容

市民を対象とした各種スポーツ大会を開催



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

事業名	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
フロアカーリング大会	32人	45人
バドミントン大会	56人	110人
パークゴルフ交流大会	164人	193人
スポンジテニス交流大会	33人	28人
卓球大会	225人	212人
ソフトテニス大会	293人	279人
合計	803人	867人



No.2 ウォーキング事業の開催

事業の目的

ウォーキングを通じて、市民の健康づくりと体力づくりを進めるとともに、苫小牧の自然あふれるウォーキングコースを歩くことで、まちの魅力の再発見や郷土愛を深める。

事業1 ウォーキングスタンプラリー

- 内 容：参加者各自で設定したコースをウォーキングし、公共施設でスタンプをもらい、15個貯めるとたまチョップポイントを付与

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
期 間	6月～9月	6月～9月
参加者	344人	390人

事業2 ウォーキングフェスティバル

- 内 容：10月上旬に開催
10km・5kmのコースを設定
参加賞を贈呈
たまチョップポイントを付与

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
開催日	令和4年10月8日	令和5年10月7日
場 所	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター周辺	緑ヶ丘公園周辺
参加者	174人	173人

令和4年度事業評価

A（順調に実施）



No.3 アールビーズとの協働事業

事業の目的

ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業を実施し、社会貢献活動を行っている(株)アールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。

事業1 協働事業の展開

- 内 容
包括連携協定を締結し、ランニングやウォーキング等を通じた事業
- 連携事項
 - ・スポーツをする子どもの増加と体力の向上に関すること
 - ・成人のスポーツ実施者の増加に関すること
 - ・障がいのある人のスポーツ参加者の増加に関すること
 - ・手軽に参加できるスポーツ環境の整備に関すること
 - ・イベント等を通じた地域活性化に関すること

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
実施内容	<p>【オクトーバーラン&ウォーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月1日～31日実施 ・ウォーキングの歩数やランニングの距離をスマートフォンのアプリを使って、全国の自治体と競うオンラインイベント <p>【苫小牧30K春】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月26日実施 ・緑ヶ丘公園周辺コース ・マラソンシーズンを前にした「練習会式マラソンイベント」 	同内容で実施予定

令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）



No.4 スポーツフェスティバルの開催

事業の目的

スポーツ都市宣言のまち苫小牧において、スポーツを「みる」、ボランティアの「ささえる」、活動を通して「する」等により、市民のスポーツへの興味が喚起される機会を創設する。

事業1 スポーツフェスティバル

●内 容

- ・市民大運動会
企業対抗パン食いリレー、こどもチャレンジ、スポーツ玉入れ
- ・スポーツ体験会
体操、ボルダリング、パラスポーツ、スケートボード、野球スキルコンテスト、ピラティス、アーチェリー等
- ・スポーツ発表会
バトンダンス、メガダンス・ラディカルパワー、レバンガ北海道等
- ・スポーツEXPO
スポーツ関連企業の出店

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
開催日	令和4年10月9日	令和5年10月15日
場 所	総合体育館	総合体育館
参加者	1,519人	2,500人



令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.5 市民スポーツ開放事業（学校開放事業）

事業の目的

小・中学校の体育館や校庭を学校教育活動に支障のない範囲で解放し、スポーツ活動や社会教育に活用する。

事業1 市民スポーツ開放事業

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
小学校	22校	21校
中学校	3校	3校

令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.6 児童の健全育成

事業の目的

市内各児童センターにおいて、児童が遊びを通して運動に親しむ習慣の形成や体力の増進を図る。また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。

事業1 児童センターの運動事業

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	・ボール遊び等の運動実施 ・来館者161,847人(館合計)	同内容で実施中

令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.7 スポーツ施設利用者・スポーツイベント参加者へのポイント付与

事業の目的

市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。

事業1 とまチョップポイント付与

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント6事業の参加者にポイント付与	スポーツイベント6事業の参加者にポイント付与実施中

No.8 スポーツに関する情報発信

事業の目的

子どもが対象となる行事案内を毎月、各公共施設に配布し、スポーツの振興や生涯学習の機会の充実を図る。

事業1 子どものための行事案内

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	毎月、行事案内を小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布するとともに、ホームページ等で情報提供	同内容で実施中

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

事業の目的

少年団等の活動内容を紹介する動画をインターネット等で配信し、競技人口の底上げを図るとともに、スポーツを通じた健康や体力づくり、地域スポーツの振興を推進する。

事業1 スポーツ団体の紹介動画作成・配信

●内容

【動画について】

少年団等の練習や選手・監督を取材し紹介するほか、練習スケジュールや会費など、子どもたちや保護者が実際に活動への参加を検討するために必要な情報を提供

【配信について】

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ、同好会等を対象に、年間8団体程度を市公式YouTubeにて配信するとともに、スポーツ施設などに設置のモニターでも放映する予定



事業2 全国初スポーツ都市宣言のロゴ作成

●内容

全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったことを周知するため、ロゴを作成し、PR

No.10 苫小牧市老人クラブ連合会への補助

事業の目的

お年寄りの健康づくりと友愛、交流を深めるため、苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。

事業 1 老人オリンピックの開催

令和4年度事業評価

D（未実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	中止	中止

No.11 70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行

事業の目的

市内在住の70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくり、生きがいづくりを図る。

事業 1 スポーツ施設無料利用券の発行

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	スポーツ施設13施設の無料利用券を発行	同内容で実施中

No.12 保健センターを利用した運動教室・講座

事業の目的

健康づくりに関する教室・講座を開催し、市民の健康増進を図る。

事業 1 教室・講座等の開催

令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	健康づくり教室、運動教室、栄養教室、健康栄養相談等を実施	同内容で実施中

No.13 健康に関するイベント実施

事業の目的

健康づくりの契機となる事業を開催し、市民一人ひとりが健康を意識し、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。

事業 1 「健考・健幸DAY」の開催

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	【令和4年10月2日】実施 高齢者を対象に健康応援イベントとして、講演会や各種健康測定会を実施	【令和4年10月27日】実施 働き世代を対象にRIZAPオンラインセミナーを実施

No.14 とまこまいマラソン大会の開催

事業の目的

多くの方々が参加することができるマラソン大会の開催を通じて、健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るいまちづくりをすすめる。

事業1 真夏の太平洋ハーフマラソンin勇払

- 内容
勇払地区を会場に、男女別年齢別に競技を分け、ハーフマラソンを実施

令和4年度実績	
開催日	令和4年7月17日
参加者	511人

令和5年度進捗状況
大会名：初夏の太平洋マラソン in勇払
開催日：令和5年7月9日
内容：3部門構成で実施 ・ハーフマラソン 478人 ・10kmコース 187人 ・2kmファンラン 277人 合計 942人

事業2 秋のファミリーミニマラソン in緑ヶ丘公園陸上競技場

- 内容
緑ヶ丘公園陸上競技場周辺を会場に、子どもから大人、親子で気軽に参加出来る2.3kmのファンランを実施

令和4年度実績	
開催日	令和4年9月25日
参加者	318人



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.15 八地区スポーツフェスティバルへの支援

事業の目的

市内を8地区に分けて、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。

事業1 八地区スポーツフェスティバルの開催

- 内容
スポーツ推進委員会を中心に、各地区で実行委員会等を組織し、ウォーキングやフロアカーリングのほか、各レクリエーション競技を実施
・各地区実行委員会へ運営費7万円を補助



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績		令和5年度進捗状況
	実施種目	参加者	
錦岡地区	中止		フロアカーリング (予定) ポッチャ (予定)
糸井地区	ウォーキング等 フロアカーリング	160人	ウォーキング フロアカーリング
中央東地区	中止		未定
中央南地区	ウォーキング フロアカーリング	133人	ウォーキング フロアカーリング (予定)
中央西地区	フロアカーリング パークゴルフ	53人	ウォーキング フロアカーリング (予定)
中央北地区	フロアカーリング	87人	スポーツフェスティバル フロアカーリング
沼ノ端地区	ソフトボール ウォーキング	192人	ソフトボール ウォーキング ミニバレー ホーキングホッケー
勇払地区	パークゴルフ	35人	パークゴルフ大会

No.16 小学校低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催

事業の目的

小学校低学年を対象としたアイスホッケー大会を開催し、競技の楽しさ・面白さを伝え普及を図る。

事業1 Jr.アイスホッケー チャレンジカップの開催

- 内 容
小学生アイスホッケー同好会連合会の4年生以下を対象とした大会を開催



	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
開催日	令和4年12月3日～11日	同内容で実施予定
参加チーム	4チーム	
参加者	102名	



令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.17 氷上スポーツ育成事業

事業の目的

幼児や小学校低学年が対象となる、氷上スポーツ体験教室の開催や実施を支援し、競技人口の底辺拡大と子どもの体力向上を目的とする。

事業1 スケートエンジョイスクール

- 内 容
遊びやゲームを通じて、基礎を学ぶ
- (1)「スケートコース」 対象：4歳～6歳
- (2)「アイスホッケーコース」 対象：4歳～6歳
- (3)「小学生アイスホッケーコース」 対象：小1～小4

		令和4年度実績		令和5年度進捗状況	
		参加者	回数	定員	回数
スケート	nepia	34人	12回	50人	12回
	ダイナックス	27人	12回	50人	12回
	新ときわ	38人	12回	50人	12回
アイスホッケー	nepia	31人	12回	40人	12回
	ダイナックス	11人	12回	30人	12回
	新ときわ	-	-	※20人	5回
小学生アイスホッケー	nepia	41人	12回	40人	12回

※防具、スティックを身につけて体験するコース

事業2 スピードスケート体験教室

- 内 容
遊びやゲームを通じて、基礎を学ぶ

		令和4年度実績		令和5年度進捗状況	
		参加者	回数	定員	回数
スピードスケート体験教室		22人	13回	25人	15回

事業3 幼児対象氷上スポーツ助成

- 内 容
幼稚園等がスケートリンクで行う氷上スポーツ行事の費用を3万円まで助成

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
助成内訳	24団体	20団体 (予算)
助成金額	588,700円	532,000円 (予算)

令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.18 町内会スケートリンク経費助成

事業の目的

身近な地域で気軽にスケートを楽しめる環境をつくるため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。

事業 1 町内会スケートリンク経費助成

●内容

町内会が実施するスケートリンク設置事業に対し、1リンク62,750円を上限に助成



	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
助成町内会	6町内会	6町内会（予算）
助成金額	376,500円	376,500円（予算）



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.19 スポーツイベントの情報発信

事業の目的

各スポーツ施設のイベント情報を、市の広報媒体で広く発信し、市民のスポーツへの参加を推進する。

事業 1 スポーツイベントの情報発信

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	市ホームページ、広報とまこまい、SNSを活用し随時、スポーツイベントの情報を発信	同内容で実施中

No.20 スポーツ団体に関する情報発信

事業の目的

年に1回サークルガイドを作成し、スポーツのほか文化・芸術等の団体一覧を公共施設や市ホームページ等で情報提供し、生涯学習に取り組む機会を提供する。

事業 1 サークルガイドの作成

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	毎年6月にサークルガイドを作成し、公共施設への配布のほか、市ホームページ等で情報提供	同内容で実施中

No.21 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催

事業の目的

「氷上の甲子園」と呼ばれる、インターハイと並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケータウンとしての知名度向上や全国的な競技の振興を図る。

事業1 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催（実行委員会補助）

- 会場
 - ・nepiaアイスアリーナ
 - ・ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
 - ・新ときわスケートセンター
- 出場枠
 - ・各都道府県1チーム
 - ※ただし、活動の多い地域として北海道10チーム、青森2チーム、東京2チーム
- その他
 - ・敗者戦を設け、全チーム2試合以上を確保
 - ・市外チームを対象に、大会前に合宿枠を設け、無料でリンク貸出

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
日程	【第17回大会】 令和4年8月2日～7日	【第18回大会】 令和5年8月11日～16日
参加チーム	22チーム	29チーム
参加者	選手・関係者 553人 大会役員 191人 合計 744人	選手・関係者 685人 大会役員 149人 合計 834人
観客数	無観客	6,492人
補助金額	9,000,000円 ※コロナ対策費含む	5,000,000円（予算）



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.22 全国・全道大会開催誘致活動

事業の目的

本市の魅力をもとに道内外に情報発信するとともに、補助金制度により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致し、地域の活性化を図る。

事業1 全国・全道スポーツ大会開催運営費補助金

- 内容

本市で開催されるスポーツ競技の全国及び全道大会への補助

【対象となる大会】

(1)主に小学生、中学生、高校生、高専生、大学生を対象とした大会であること。

(2)次の団体が主催する大会であること。

 - ①（公財）日本スポーツ協会加盟の競技団体
 - ②全国中学校体育連盟及び北海道中学校体育連盟
 - ③（公財）全国高等学校体育連盟及び北海道高等学校体育連盟
 - ④全国高等学校野球連盟及び北海道高等学校野球連盟

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
補助大会数	全道 8大会 全国 1大会 計 9大会	全道11大会（予算）
補助額	3,040,000円	1,650,000円（予算）



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.23 第95回日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会の開催

事業の目的

大学生の最高峰となる日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会（インカレ）を市内で開催し、競技の振興を図るとともに、「氷都とまこまい」としての知名度向上や地域の活性化を図る。

事業1 第95回日本学生氷上競技選手権大会の開催 (実行委員会補助)

●内容

開催日：令和5年1月5日(木)～7日(土)

競技1 スピードスケート競技

場 所：ハイランドスポーツセンター
参加者：178人（選手）

競技2 フィギュアスケート競技

場 所：白鳥王子アイスアリーナ
参加者：185人（選手）

実行委員会補助額 1,595,831円



令和4年度事業評価

A（順調に実施）

No.24 令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催

事業の目的

高校生スポーツ最大の祭典である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のソフトテニス競技大会及びテニス競技大会を開催する。

事業1 令和5年度全国高等学校総合体育大会 ソフトテニス・テニス競技大会の開催 (実行委員会補助)

競技1 ソフトテニス競技

●日 程 令和5年7月22日(土)～29日(土)

●会 場 開会式 市民会館

競技会場 緑ヶ丘公園庭球場

●参加者 選手・監督コーチ等 2,015人

観客数 10,700人

競技2 テニス競技

●日 程 令和5年7月31日(月)～8月7日(月)

●会 場 開会式 市民会館

競技会場 緑ヶ丘公園庭球場

千歳市青葉公園庭球場

●参加者 選手・監督コーチ等 744人

観客数 7,100人

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	・先催地視察 ・本大会開催準備	・本大会開催終了
補助金額	2,600,000円	17,000,000円（予算）



令和4年度事業評価

A（順調に実施）

No.25 第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)の開催

事業の目的

国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツ推進と地方文化発展への寄与等を目的に大会を開催する。

事業1 第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催 (実行委員会補助)

●競技・会場・日程

開始式	苫小牧市民会館	令和6年1月27日
スピードスケート	ハイランドスポーツセンター	令和6年1月28日～1月31日
ショートトラック	新ときわスケートセンター	令和6年1月28日～1月29日
フィギュアスケート	napiaアイスアリーナ	令和6年1月28日～1月31日
アイスホッケー	napiaアイスアリーナ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ 新ときわスケートセンター	令和6年1月30日～2月3日

●大会テーマ

「新たな光へ!とまこまい国スポ2024」

●大会参加見込数

選手・監督 1,600人
大会役員等 400人

令和4年度事業評価

A(順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	・先催地視察 ・本大会開催準備	・本大会開催
補助金額	1,560,893円	34,465,000円(予算)

【大会ポスター】



【大会マスコット】



【シンボルマーク】



No.26 スポーツ合宿等助成

事業の目的

スポーツ合宿を実施する市外の団体に対して経費の一部を補助し、誘致を図るとともに、地域の活性化や競技力の向上につなげる。

事業1 苫小牧市スポーツ合宿等補助金

●要件

- ◎苫小牧市内の宿泊施設とスポーツ施設を利用
- ◎(参加者数)×(宿泊日数)が5泊以上
- ◎合宿期間中に公開練習や市内チームとの練習
- ◎非営利目的

●助成額(一人1泊あたり)

- ◎一般スポーツ団体 1,000円
- ◎中央競技団体 2,000円

●上限額

- ◎一般スポーツ団体 100,000円
- ◎中央競技団体 200,000円

令和4年度事業評価

A(順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
合宿件数	69件	150件(予算)
補助金額	1,560,893円	9,194,000円(予算)

北海道苫小牧市スポーツ合宿等補助制度のポスター。内容は、補助対象となる団体、補助金額、申請方法、問い合わせ先などが記載されている。

令和5年度 合宿来訪団体(予定団体含む)

種別	団体	人数	期間	会場
サッカー	北見陸軍高等学校	18	令和5年4月11日～令和5年4月22日	緑ヶ丘公園サッカー場
	札幌学院大学	33	令和5年4月12日～令和5年4月13日	緑ヶ丘公園サッカー場
	旭川総合高等学校	39	令和5年4月12日～令和5年4月13日	緑ヶ丘公園サッカー場
	S.N.F.C U15	30	令和5年4月12日～令和5年4月13日	緑ヶ丘公園サッカー場
	S.N.F.C U12	24	令和5年4月12日～令和5年4月13日	緑ヶ丘公園サッカー場
アイスホッケー	一般社団法人アイスホッケー協会	25	令和5年3月1日～令和5年5月4日	エルムスタジアム
	旭川学院大学	24	令和5年3月20日～令和5年4月1日	緑ヶ丘公園サッカー場
ソフトテニス	新井北陸高等学校	15	令和5年3月1日～令和5年5月1日	緑ヶ丘公園サッカー場
	旭川学院大学	20	令和5年3月4日～令和5年5月5日	緑ヶ丘公園サッカー場

No.27 スポーツ合宿の誘致活動

事業の目的

MICE誘致推進協議会により、本市の優位性をPRし、市外の団体等の合宿を誘致する。

事業1 合宿誘致セールス等の実施

●内 容

首都圏の競技団体等を中心に合宿の誘致セールスを実施
また、合宿を実施した団体には、歓迎品として、スポーツドリンク等を進呈

●実施主体

苫小牧市MICE誘致推進協議会（事務局：観光協会）

主な構成員

- ・観光協会
- ・商工会議所
- ・苫小牧市
(観光振興課・スポーツ都市推進課)
- ・苫小牧市スポーツ協会
- ・旅行取扱業

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	チラシ等を配布しPRを実施	同内容で実施中

令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

苫小牧合宿の特長



No.28 アイスホッケー競技NTC事業の推進

事業の目的

ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、nepiaアイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本アイスホッケー競技のレベルアップを図る。

事業1 中央競技団体による施設利用

●内 容

- (1)男子ナショナルチーム強化合宿
- (2)女子ナショナルチーム強化合宿
- (3)男子U18ジュニアチーム強化合宿
- (4)女子U18ジュニアチーム強化合宿
- (5)女子U16ジュニアチーム強化合宿
- (6)女子U12ジュニアチーム強化合宿

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
NTC事業活動日数	183日	同内容で実施中
事業費	14,583,149円	21,193,000円（予算）

事業2 強化・育成活動

●内 容

- (1)ナショナルレベルの競技者の集中的・継続的な強化活動
- (2)競技者育成プログラムに基づくジュニア競技者の育成
- (3)医・科学セミナー講師によるメンタル講習

令和4年度事業評価

A（順調に実施）



No.29 プロスポーツの試合開催

事業の目的

トップレベルのスポーツ観戦の機会をつくり、スポーツが持つ楽しさや感動を共有し、スポーツ人口の増加を図る。

事業1 プロスポーツ等の試合開催

- 内 容
世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
開催試合等	◎アジアリーグアイスホッケー2022-2023 ・nepiaアイスアリーナ ◎女子プロゴルフニッポンハムレディスクラシック ・R4.7.7~7.10 ・桂ゴルフ倶楽部 ◎ツール・ド・北海道2022 ・R4.9.11 ・緑ヶ丘公園	◎アジアリーグアイスホッケー2023-2024



No.30 国際アイスホッケー中学生交流会

事業の目的

トヨタ自動車カナダとトヨタ自動車北海道との間で製品取引が開始されたことを記念し、アイスホッケーを通じて、両国の中学生による交流を深めるとともに、競技力向上と普及を図る。

事業1 国際アイスホッケー中学生交流会の開催 (実行委員会補助)

- 内 容 : 1年ごとにカナダと本市の選手団が相互に訪問し、交流試合等を実施

交流内容

- ・交流試合
- ・学校体験
- ・ホームステイ
- ・歓迎パーティー
- ・観光 など

令和4年度事業評価

D (未実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
実施時期	中止 (訪問年)	中止 (受入年)
実施内容	-	-



No.31 スポーツ大会遠征費補助金

事業の目的

全道・全国大会に出場する小学生から大学生の団体・個人に対して、遠征に係る経費の一部助成等を行い、選手のレベルアップはもとより、所属チームなどにも経験を還元し、地域のスポーツ振興につなげる。

事業1 遠征費補助金

●内容

- ①大会：全道・全国大会
- ②対象者：市内在住の小・中学生
⇒交通費7割
+宿泊費3千円/泊
市内在学の高校・大学生等
⇒一律1万円

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
補助件数	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生 23件 ・小中学生 3件 ・中学生 66件 ・中、高校生 2件 ・高校生 13件 ・大学生 1件 合計 108件 	同内容で実施中
補助金額	10,781,509円	12,104,000円（予算）

事業2 国際大会出場奨励金

●内容

- ①対象大会：オリンピック、世界選手権等
- ②対象者：市内在住・在学、市内チームに所属する者
- ③交付額：10万円/人（オリンピック）
5万円/人（世界選手権）
3万円/人（その他、学生のみ）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
(1) 補助件数	7件	22件（予算）
(2) 奨励金	340,000円	840,000円（予算）

令和4年度事業評価

A（順調に実施）

No.32 アスリートに対する応援事業

事業の目的

本市ゆかりのアスリートをまち全体で応援し、市民のスポーツへの興味関心を高めることで、スポーツ人口の増加につなげる。

事業1 アスリートに対する応援事業

●内容

市民がアスリートに応援する機運を高めるため、オリンピック・パラリンピック等の出場者への壮行会、メダル受賞者や、プロ野球ドラフト会議指名選手等のセレモニーを実施

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市長表敬訪問 41件（スポーツ分野） ・その他、横断幕の掲示や各種セレモニー等を実施 	同内容で実施中



令和4年度事業評価

A（順調に実施）

No.33 スポーツマスター事業

事業の目的

スポーツ分野において輝かしい功績を残した本市ゆかりのアスリートにスポーツマスターの称号を与え、スポーツ教室などを通じて、スポーツの振興を図る。

事業1 スポーツマスターの称号授与

●内容

本市にゆかりがあり、オリンピック・パラリンピックその他の国際的又は全国的な競技会等において輝かしい活躍をし、その功績が特に顕著であるアスリートに対し称号を授与

現在のスポーツマスター

	氏名	競技	称号授与日
1	引木 孝夫 氏	アイスホッケー	H 7. 9. 25
2	鈴木 秀太 氏	バスケットボール	H 7. 9. 25
3	高澤 秀昭 氏	野球	H 7. 9. 25
4	山中 宏美 氏	スピードスケート	H 8. 12. 26
5	本間 貞樹 氏	アイスホッケー	H12. 10. 12
6	佐藤 久佳 氏	水泳	H28. 9. 22

事業2 スポーツ教室等の協力

●内容

市や各団体等が主催する講演会、講習会及び実技指導等の事業への協力

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
アイスホッケー教室	1回開催 46名参加	未定
水泳教室	1回開催 36名参加	1回開催

令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)



No.34 レッドイーグルス北海道との協働事業

事業の目的

本市をホームタウンとするアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業1 協働事業の展開

●内容

包括連携協定を締結し、学校訪問、若年層への競技指導等を実施

●連携事項

- ・スポーツ振興に関すること
- ・青少年の健全育成に関すること
- ・苫小牧市とレッドイーグルス北海道のPRに関すること
- ・レッドイーグルス北海道に対する活動運営の支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道が実施する地域貢献活動への支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道と市民との交流に関すること
- ・その他地域貢献活動に関すること

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生コンテンツ創出事業によるホームゲームの支援 ・アイスホッケー教室の開催 ・スケート授業の協力 ・学校訪問 ・著名人の招聘などを通じた来場者促進 等 	同内容で実施中



令和4年度事業評価

A (順調に実施)

No.35 ※Safilva北海道との協働事業

事業の目的

本市をサブホームタウンとするバレーボールチーム「Safilva北海道」との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図る

事業1 協働事業の展開

- 内容
包括連携協定を締結し、バレーボール競技を通じた地域貢献活動の実施
- 連携事項
 - スポーツ振興に関すること
 - 青少年の健全育成に関すること
 - 苫小牧市及びサフィルヴァ北海道のPRに関すること
 - サフィルヴァ北海道に対する応援活動の支援に関すること
 - サフィルヴァ北海道が実施する地域貢献活動への支援に関すること
 - その他地域貢献に関すること

※Safilva北海道は令和5年6月に「北海道イエロースターズ」にチーム名が変更 今後の包括連携協定については調整中

令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
実施内容	バレーボール教室の開催 (令和4年12月3日実施)	同内容で実施予定



No.36 青森県八戸市との連携

事業の目的

アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、アイスホッケーの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。

事業1 小学生アイスホッケー交流試合の実施

- 内容
本市と八戸市の両市で開催される、アイスホッケーアジアリーグ「レッドイーグルス北海道」VS「東北フリーブレイズ」の試合に合わせ、毎年相互に、両市の小学生選抜チームが訪問し、交流試合を行い、互いの競技力向上を図る。

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
実施内容	◎交流試合は、中止 代替事業として、「レッドイーグルス北海道vs東北フリーブレイズ」の試合を観戦し、はちとま連携事業を紹介	◎令和5年10月21日～22日に実施 本市の小学生選抜チームが八戸市を訪問し、フラット八戸を会場に「東北フリーブレイズvsレッドイーグルス北海道」の試合前段に交流試合等を実施



令和4年度事業評価

C (やや遅れて実施)

No.37 北海道応援大使プロジェクト（令和5年度新規事業）

事業の目的

北海道日本ハムファイターズが北海道ボールパークFビレッジ内で提供するエンターテイメントやチームコンテンツを活用し、本市の地域活性化を支援する。

事業1 「北海道応援大使プロジェクト」 提供サービスの利用

●内容

【苫小牧市民応援デーの開催】

- ・令和5年5月16日実施
- ・市民を対象に抽選で公式戦無料招待

【ヒーロー賞贈呈】

- ・ファイターズ主催試合においてヒーロー賞
- ・受賞選手に本市特産品やふるさと納税返礼品を贈呈し、本市の魅力をPR

第1回 4月20日 ネピecoトイレットロール

第2回 5月31日 スモークサーモン他

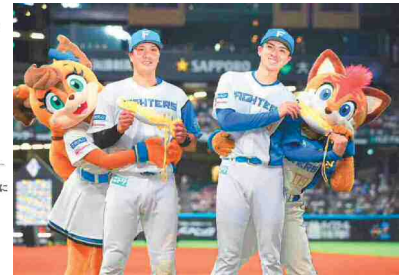
第3回 9月1日 ネピecoトイレットロール

【選手交流会2023トークショーの開催】

- ・令和5年11月21日実施（予定）
- ・北洋大学を会場に選手3名によるトークショー
- ・定員500名



北海道日本ハムファイターズ
2023年「北海道応援大使プロジェクト」に
苫小牧市が選ばれました！
北海道ボールパークFビレッジの
オープン初開催となる2023シーズンの
ファイターズと連携した企画も
予定していますのでお楽しみに！
ぜひ皆さまも応援はES CON FIELD
HOKKAIDOに足をお運びください。



No.38 スポーツ推進委員会活動

事業の目的

各種会議へ参加しスポーツの学びを深め、市主催・共催事業への協力、フロアカーリング等の老若男女が楽しめるスポーツイベントの企画等を実施し、地域スポーツの普及・推進を図る。

事業1 定例会議の開催や活動の支援

●苫小牧市スポーツ推進委員

スポーツ基本法第32条に基づく、市の非常勤職員（任期は2年）

※現委員

- ・人数：38人
- ・任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日
2年ごとに改選

●主な活動内容

地域におけるスポーツ事業の運営や指導、マラソン大会やスケートまつり、市主催事業、出前講座等の協力

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議 ・スポーツ推進委員研修会 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会参加 ・全国スポーツ推進委員研究協議会参加 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会参加 ・市主催、共催事業への協力等 	同内容で実施中



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.39 スポーツボランティアの募集

事業の目的

スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるボランティアを募り、スポーツを通じた地域の活性化やスポーツ振興を図る。

事業1 スポーツイベントへの協力

令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントに協力	同内容で実施中

No.40 アスリートフードマイスターの紹介

事業の目的

身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援し、スポーツ大会や合宿誘致に向けた環境整備を行う。

事業1 アスリートフードマイスターの紹介

令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	アスリートフードマイスターの紹介やレシピ等を市ホームページで公開	同内容で実施中

No.41 指定管理者の自主事業の充実

事業の目的

指定管理者による自主事業の充実により、市民の心身の健全な発達、スポーツ振興や施設の利用率向上を図る。

事業1 指定管理者による自主事業の実施

●内容

指定管理者が独自に各種教室や大会を開催



	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	参加人数 156, 184名 主な事業 ・オリンピックスケート体験教室 ・ストリートスポーツフェスティバル ・カーリング体験 ・ラディカルプログラム	同内容で実施中



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.42 北洋大学との連携

事業の目的

北洋大学の協力を得て市内のスポーツ振興を図る。

事業1 スポーツイベントでの事業協力

- 内容
北洋大学の連携・協力の一環として、スポーツ分野における事業協力を実施



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	【市主催パラスポーツ教室】 車いすバスケットボール教室に おける事業協力 (令和4年11月26日実施)	【北海道応援大使プロジェクト 選手交流会2023】 日本ハムファイターズ選手ト ークショーにおける事業協力 (令和5年11月21日実施予定)
	北洋大学女子バスケットボール 部4名の選手が運営に協力	北洋大学野球部選手が運営に協 力予定



No.43 パラスポーツ教室

事業の目的

各種教室などを通じて、障がいのある方がスポーツに親しみ、交流していただくことで、社会参加を促進する。
また、健常者に体験していただき、競技に対する理解やふくしの心の育成を図る。

事業1 パラスポーツ教室の開催

- 内容
各競技団体等から講師を招き、福祉ふれあいセンターを会場に年間5種目の教室を開催



	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
フライングディスク	28人	27人
ポッチャ	37人	35人
パラアイスホッケー	27人	17人
車いすバスケットボール	30人	同内容で実施予定
フロアカーリング	29人	

令和4年度事業評価

A（順調に実施）



No.44 パラスポーツ体験会

事業の目的

様々なパラスポーツ競技を体験できる事業を通じて、パラスポーツを周知し、競技人口の拡大や理解促進につなげる。

事業1 パラスポーツ体験会の開催

- 内容
各競技団体等の協力により、競技種目の体験ブースを設け、全市民を対象としたパラスポーツ体験を実施



令和4年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
開催日	令和4年9月11日	令和6年3月開催予定
会場	総合体育館	総合体育館
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボール ・ポッチャ ・フライングディスク ・パラ陸上 ・サウンドテーブルテニス 	同内容で実施予定
参加者	76人	-



No.45 既存スポーツ施設の改修

事業の目的

老朽化が進んでいるスポーツ施設を改修・再整備することで、魅力を向上し、より多くの方に利用いただける施設として有効に活用する。

事業1 老朽化した施設や設備等の改修

- 内容
老朽化が進んだスポーツ施設の優先順位を定め、計画的な改修・再整備を実施します。



令和4年度事業評価

A (順調に実施)

	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘公園庭球場改修 (20面中4面) ・矢代スポーツセンター改修 ・日新温水プール熱源改修 他多数 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球場改修 (ラバーフェンス及びバックネット更新) ・国民スポーツ大会競技会場整備 (ハイランドスポーツセンター計測システム、nepiaアイスアリーナ音響設備更新等)
事業費	337,309,303円	396,077,000円 (予算額)

No.46 スポーツ施設の一体管理

事業の目的

複数のスポーツ施設を1つの指定管理者が一体的に管理することで、施設の効果的・効率的な運営や、利用促進を図る。

事業1 スポーツ施設の一体管理

●内容

スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため、指定管理者による一体管理を実施



	令和4年度実績	令和5年度進捗状況
内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館、日吉体育館、川沿公園体育館の一体管理 緑ヶ丘公園スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター、とましんスタジアム、清水野球場、少年野球場、庭球場、サッカー場、ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場）の一体管理 	同内容で実施中



令和4年度事業評価

B（概ね順調に実施）